



# Big data, Big innovation

次のイノベーションは、ビッグデータから

## 2013年6月期 第1四半期 決算補足説明資料

2012年10月31日

株式会社ブレインパッド

本資料に記載されている戦略や計画、見通しなどは、過去の事実を除いて予測であり、現時点において入手可能な情報に依拠し判断された一定の前提条件に基づいております。したがって、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これら見通しとは乖離する場合があることをご承知おきください。またグラフ内の数値は端数処理により総和が短信等で開示している合計額と一致しない場合があります。なお、2011年6月期 2Q以前の数値は未監査でありますため、当該期の数値は参考資料となります。

本資料における情報は、本資料が作成された時点のものです。将来発生する事象などにより内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。また、本資料に記載された会社名・商品名・ロゴは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

# 会社のプロフィール

【商号】 株式会社ブレインパッド(英文 BrainPad Inc.)  
(東証マザーズ 証券コード:3655)

【住所】 東京都品川区東五反田5-2-5 KN五反田ビル

【設立】 2004年3月18日(決算日6月30日)

【資本金】 326,618,926円(2012年9月30日現在)

【社員数】 114名 (2012年9月30日現在)

【代表者】 草野 隆史

【事業】 アナリティクス事業(AS事業)  
ソリューション事業(SOL事業)  
ASP関連事業(ASP事業)



# INDEX

- 第10期1Q 経営状況サマリ
- 業績ハイライト
- セグメント別業績
  - アナリティクス事業(AS事業)
  - ソリューション事業(SOL事業)
  - ASP関連事業(ASP事業)
- Appendix

# 第10期1Q 経営活動サマリ

今後5年の成長を見据えた「投資の1年」の期初として、以下の施策を実施し、土台作りを優先して注力し、売上高は前年同期比110%の成長となりました。

## ●分析官の戦略的異動

商品開発能力の強化および顧客への提案能力の強化を図るため、主力のアナリティクス事業で育成した分析官の約10%を他部署に異動

## ●企画系部署の新設

新たなサービスや商材の開発・調達、それらの販売力強化と組織力の向上を図るため、企画系部署(チーム)を新設

- ・新たなソフトウェア商材の調査・代理店権獲得・拡販を行う部署
- ・専属的に新規事業の開発を行う部署
- ・大手顧客への拡販に向けた営業戦略を企画する部署
- ・社内に蓄積されたナレッジを体系的に整理・共有する部署
- ・業務効率化を図るための事務処理センター設立を行う部署
- ・高速かつセキュアな社内分析プラットフォームを構築する部署

## ●子会社の設立

データ分析業務のオペレーションセンター機能を担う子会社を設立  
(17Pに詳細)

# 第10期 1Qハイライト

(2012年7月～2012年9月)

## 全体業績

- ・ 売上高 : 4.19億円 前年同期比+10%
- ・ 営業利益 : 0.20億円 前年同期比△52%
- ・ 経常利益 : 0.16億円 前年同期比△27%

## アナリティクス事業

- ・ 売上高 : 1.57億円 前年同期比△11%

## ソリューション事業

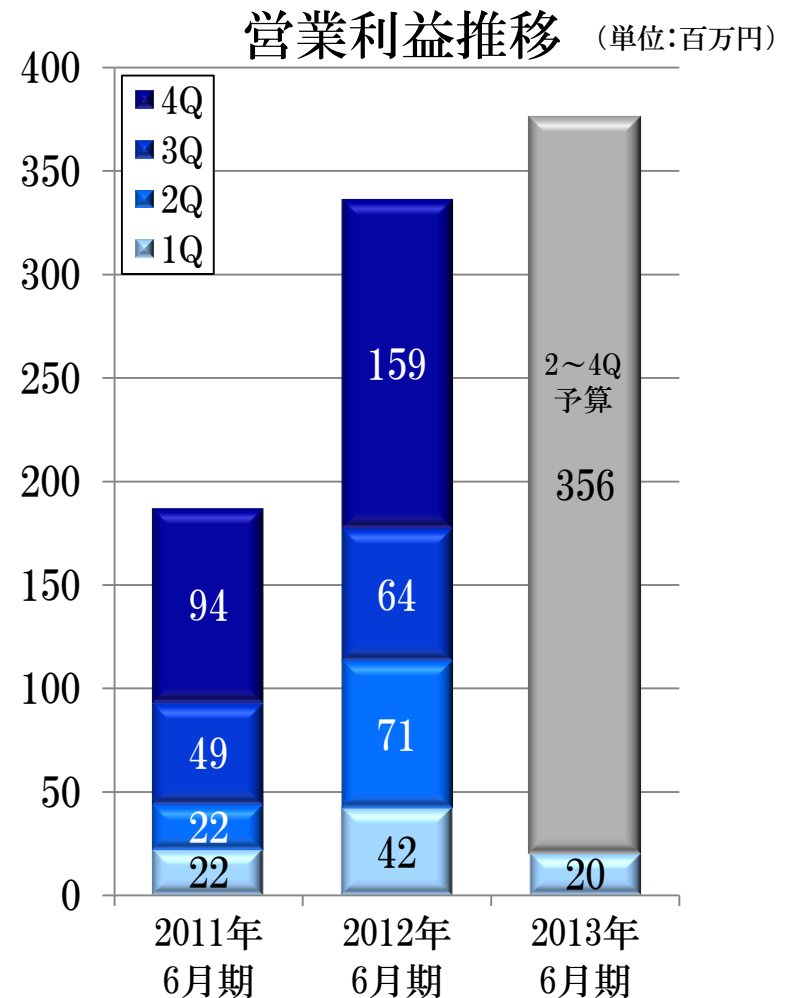
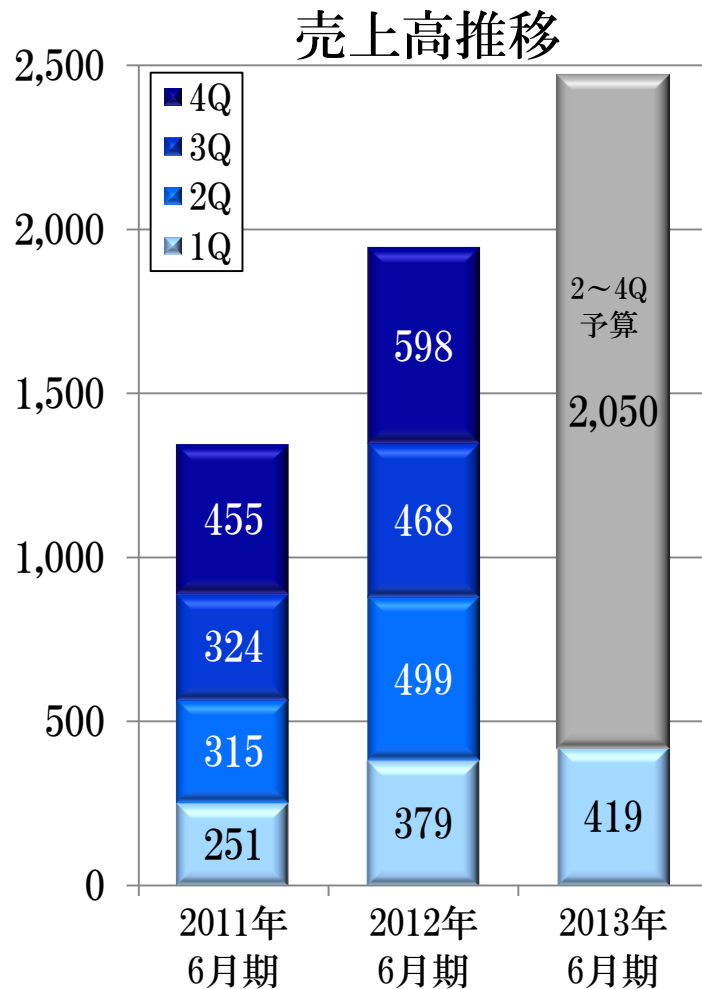
- ・ 売上高 : 1.29億円 前年同期比+57%

## ASP関連事業

- ・ 売上高 : 1.32億円 前年同期比+11%

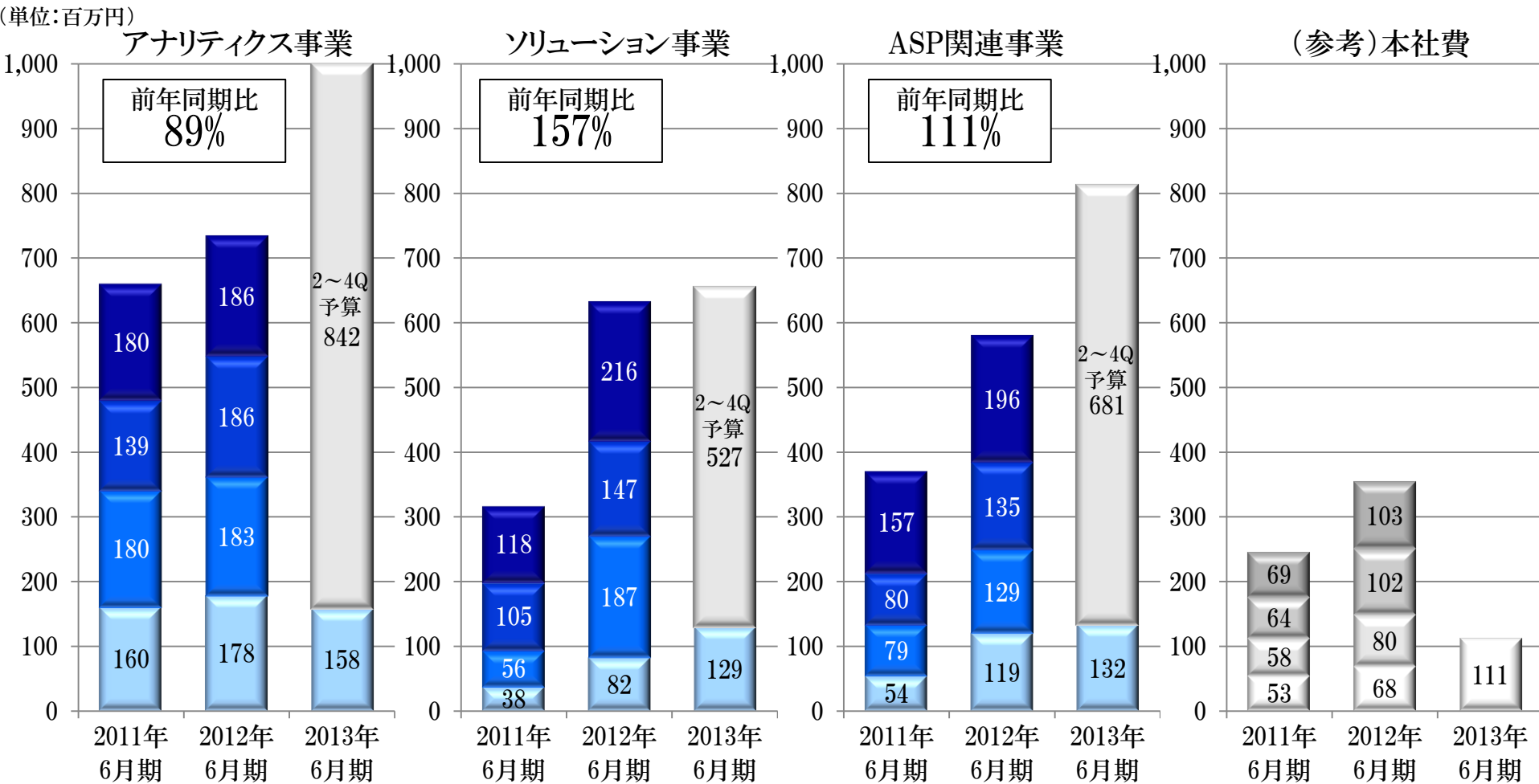
# 第10期 1Q ハイライト

従来よりの下期偏重の予算に対し、想定内で推移しています。



# セグメント別 業績ハイライト

ソリューション事業とASP関連事業のストック型ビジネスが中心に  
けん引し、全社として前年同期比を上回る売上となりました。

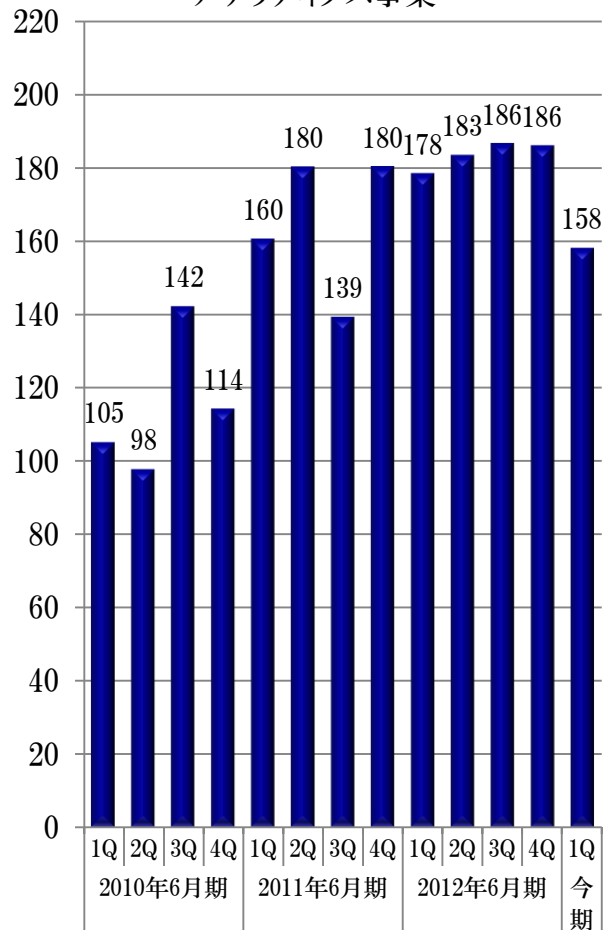


# セグメント別売上推移

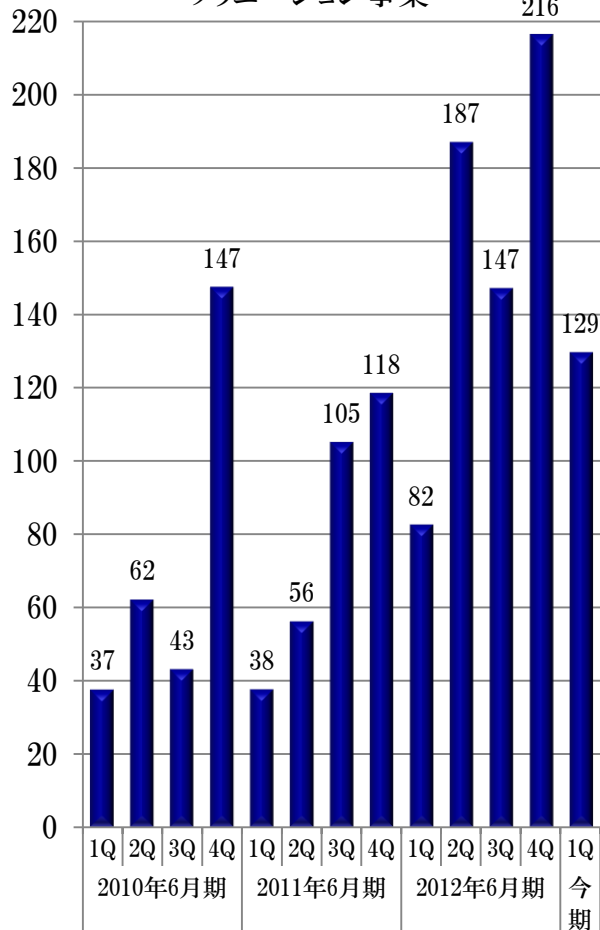
アナリティクス事業での、人員異動による稼働人員数減少に伴う売上減少はあるものの、全事業ともに想定内で推移しています。

(単位:百万円)

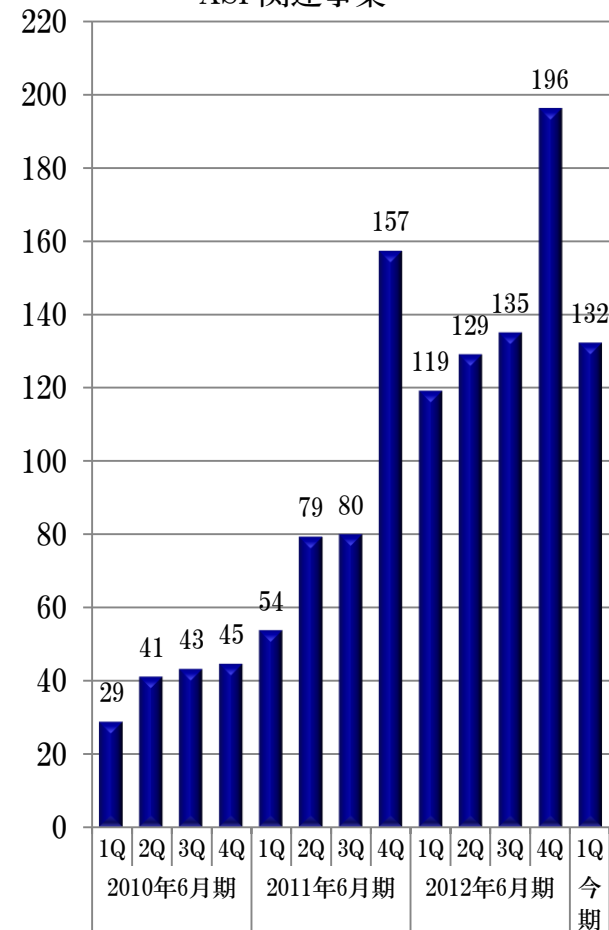
### アナリティクス事業



### ソリューション事業



### ASP関連事業



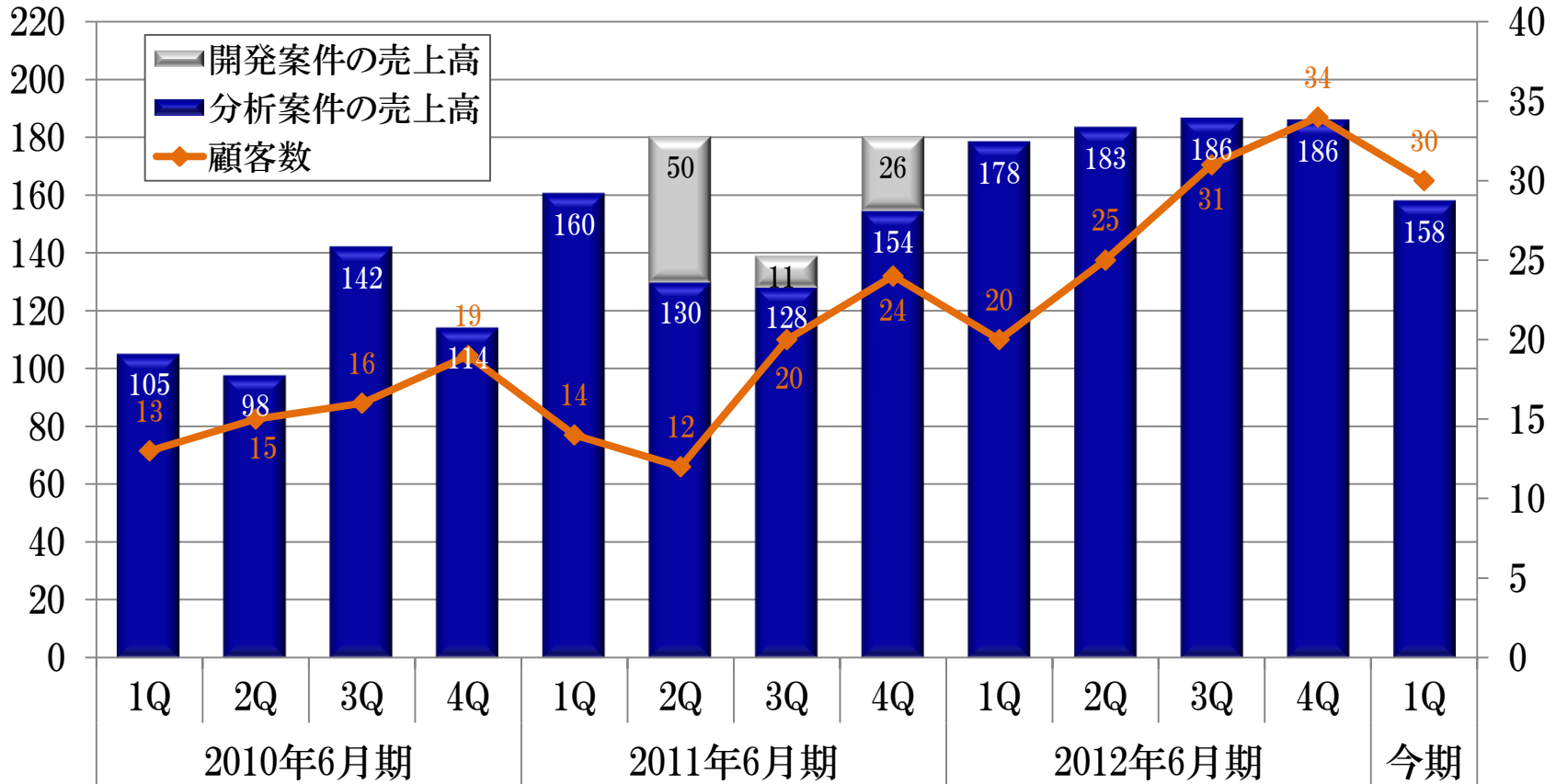


# AS事業 売上一顧客数推移

分析官の10%程を他事業部に戦略的に異動をするとともに、アナリティクス事業内においてもインフラ整備など、成長に向けた土台作りを優先して取り組みました。

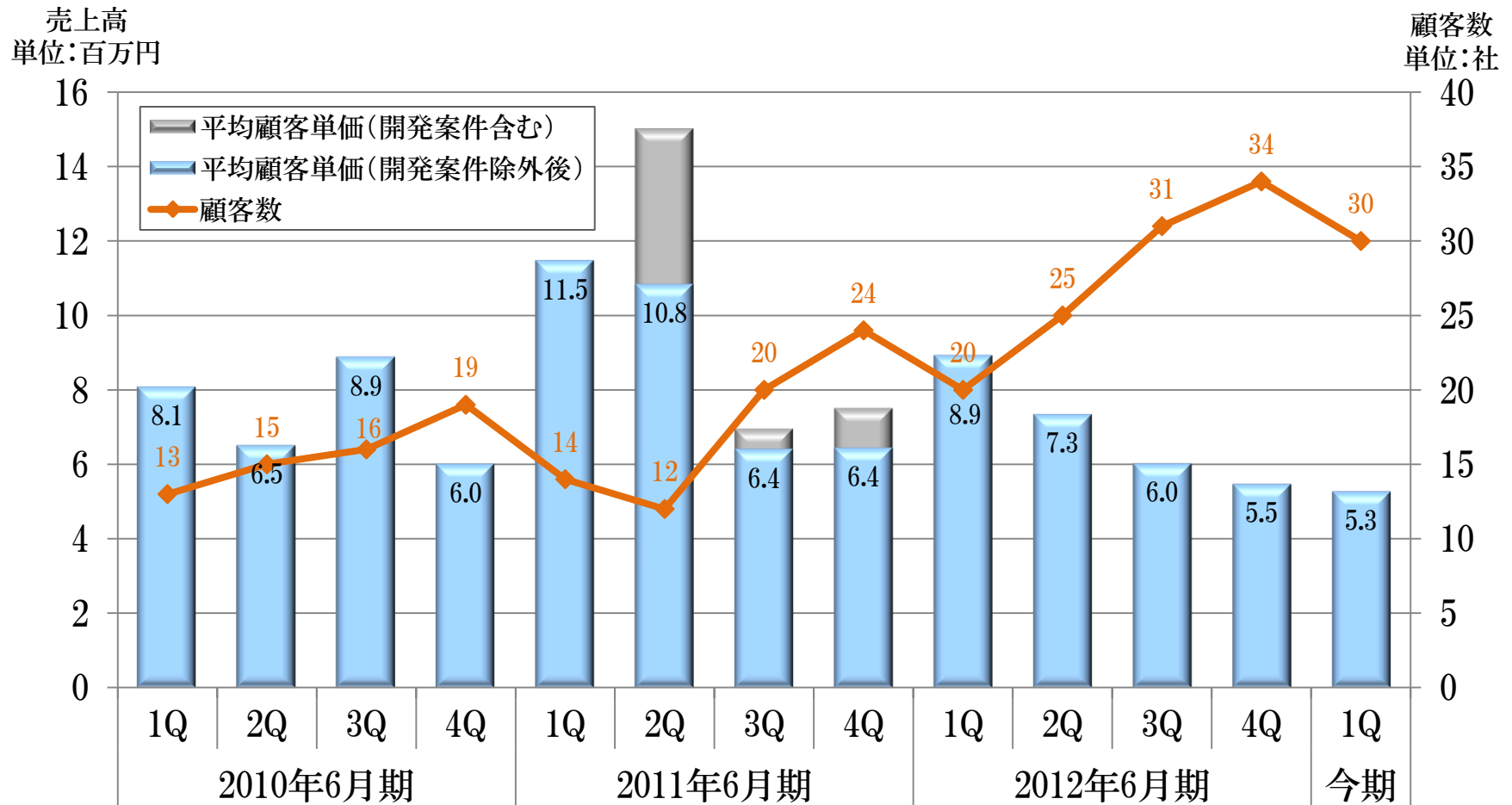
売上高  
単位:百万円

顧客数  
単位:社



# AS事業 顧客数－顧客単価推移

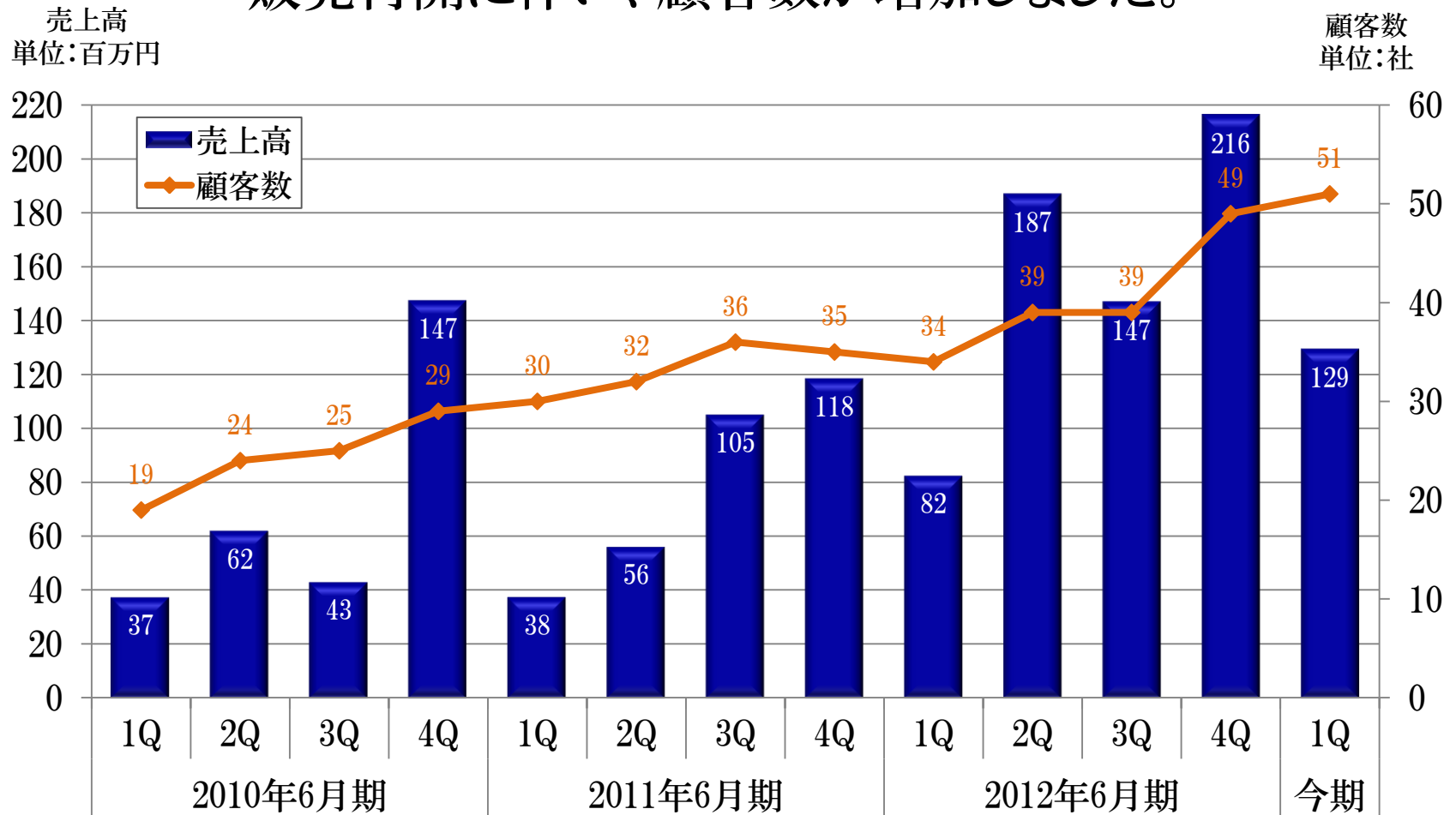
案件の継続・大型化を通して、拡大した顧客ベースからの売上向上を目指すため、大手顧客への営業戦略を企画する部署を新設し、単価向上に着手しています。



※2011年6月期の2Q～4Qには、分析から派生した大型の開発案件による売上を含むため、これを除いた平均顧客単価を表示させています。

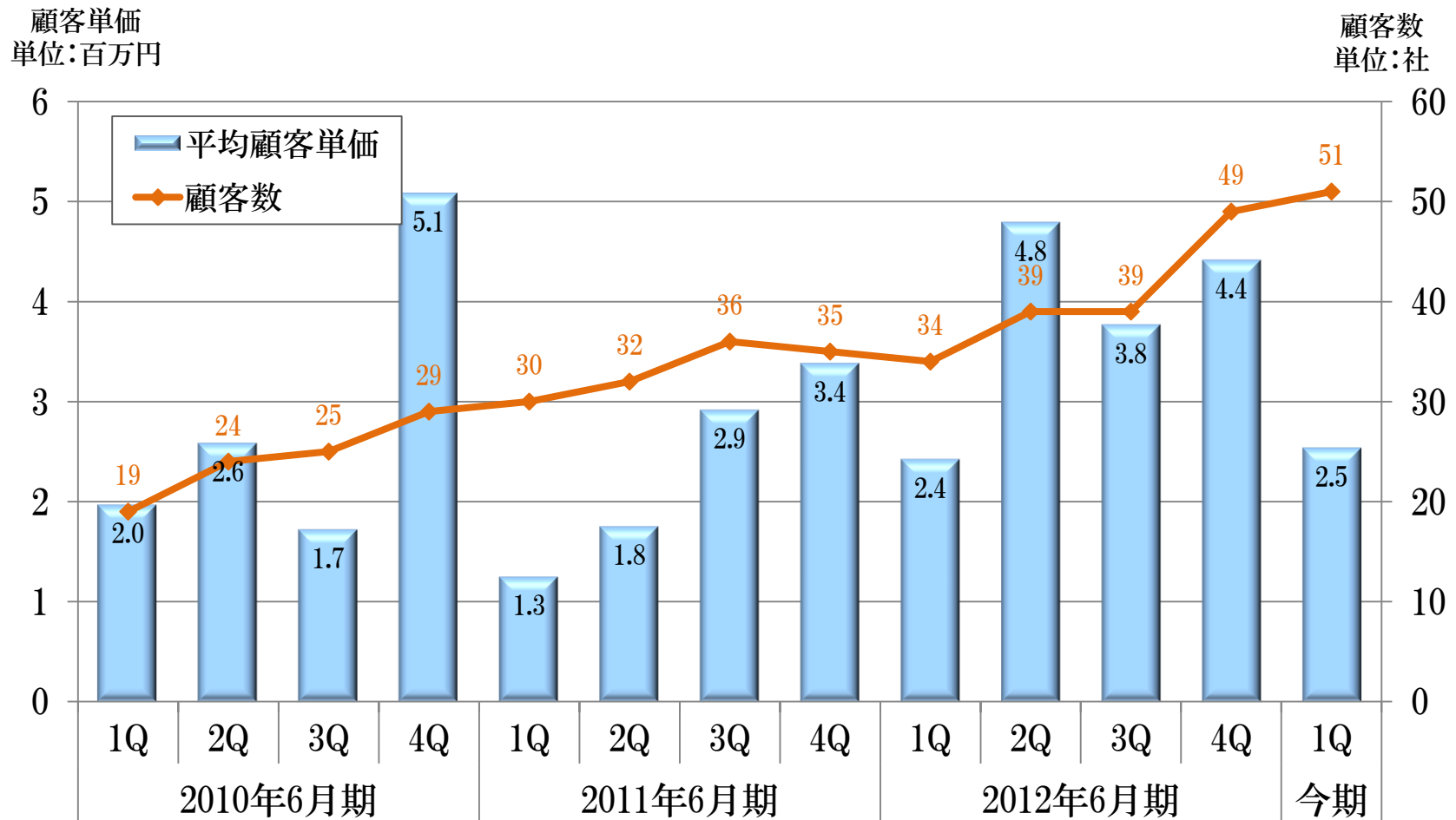
# SOL事業 売上—顧客数推移

新たなソフトウェア商材の拡充およびsmartFOCUSの  
販売再開に伴い、顧客数が増加しました。



# SOL事業 顧客数－顧客単価推移

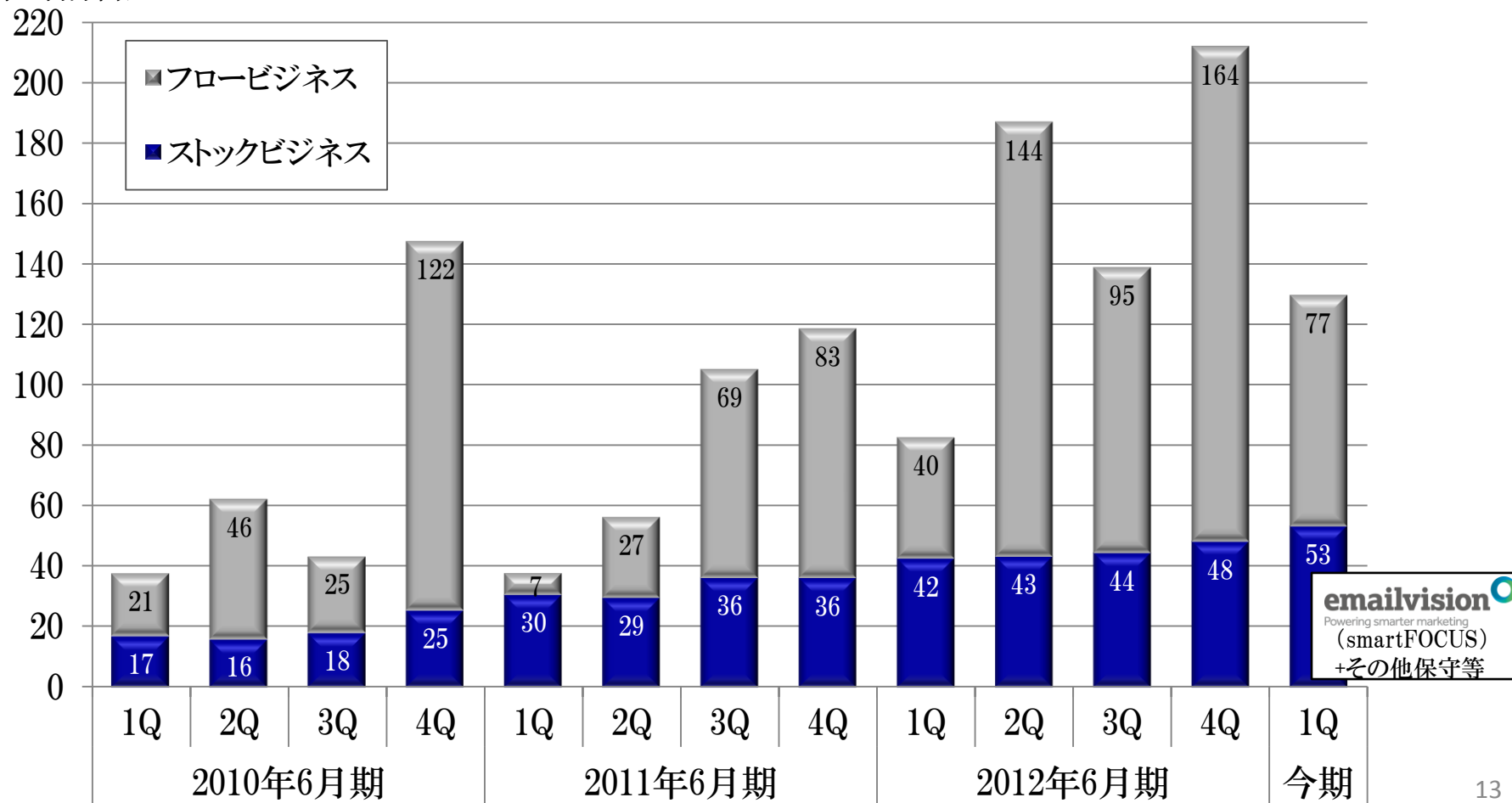
新たなソフトウェア商材の調査発掘、および販売促進を担う部署を新設し、提案商材の拡充による顧客単価向上に着手しています。



# SOL事業 売上構造

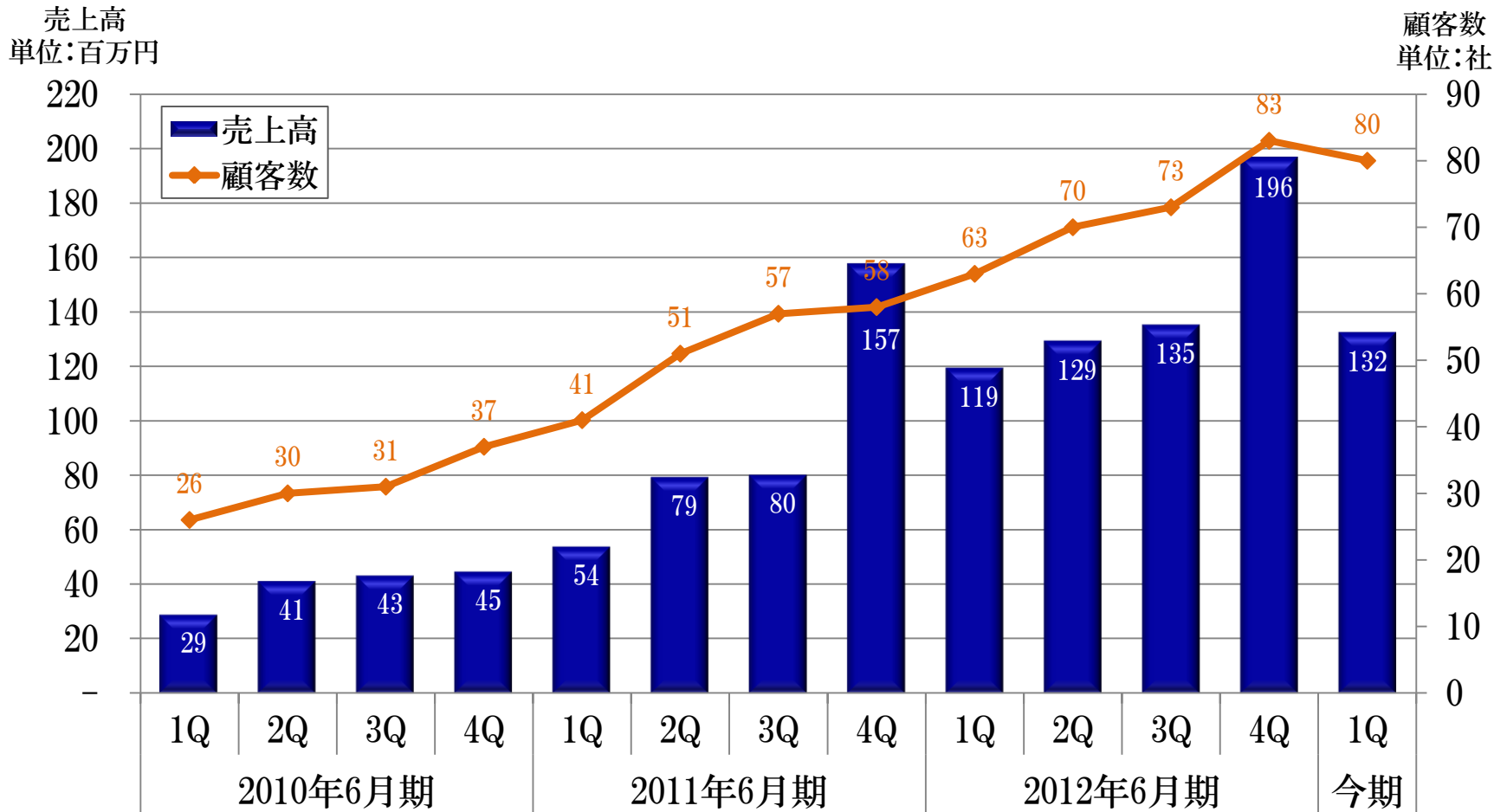
仕入れ先企業の買収で営業活動が停滞していたsmartFOCUSが販売再開したことで、ストックビジネスの売上が増加しました。

(単位:百万円)



# ASP事業 売上－顧客数推移

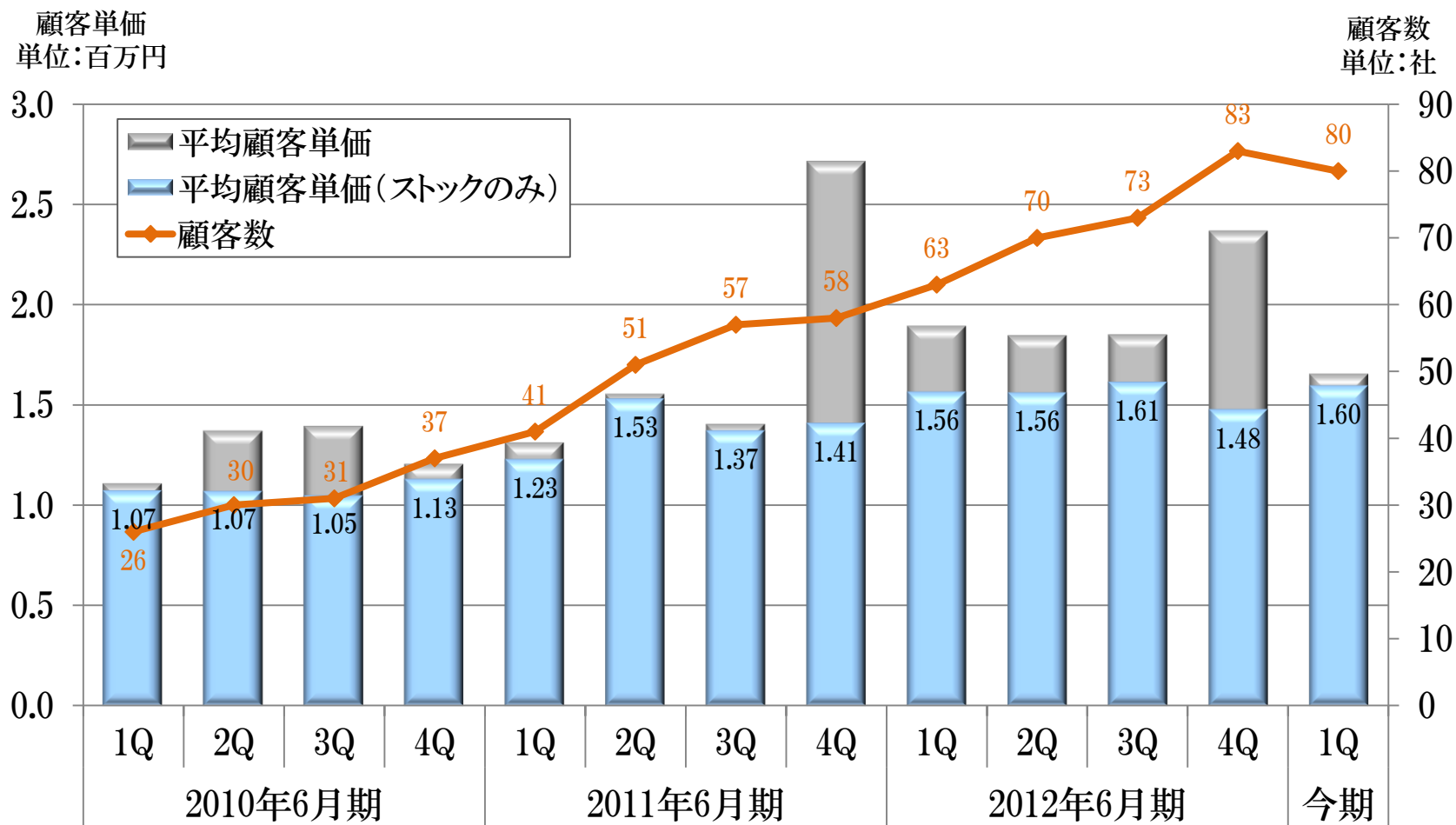
売上はストックビジネスの伸長で想定通りに推移しました。  
(初の顧客数減少は、顧客企業の合併等によります)



※顧客数につきましてはRtoasterとL2Mixer両製品で取引がある企業も1社としてカウントしています。

# ASP事業 顧客数－顧客単価推移

横ばい傾向にあるストックビジネスの平均顧客単価をあげるべく、  
 プロダクトの拡充および機能追加に着手しています。

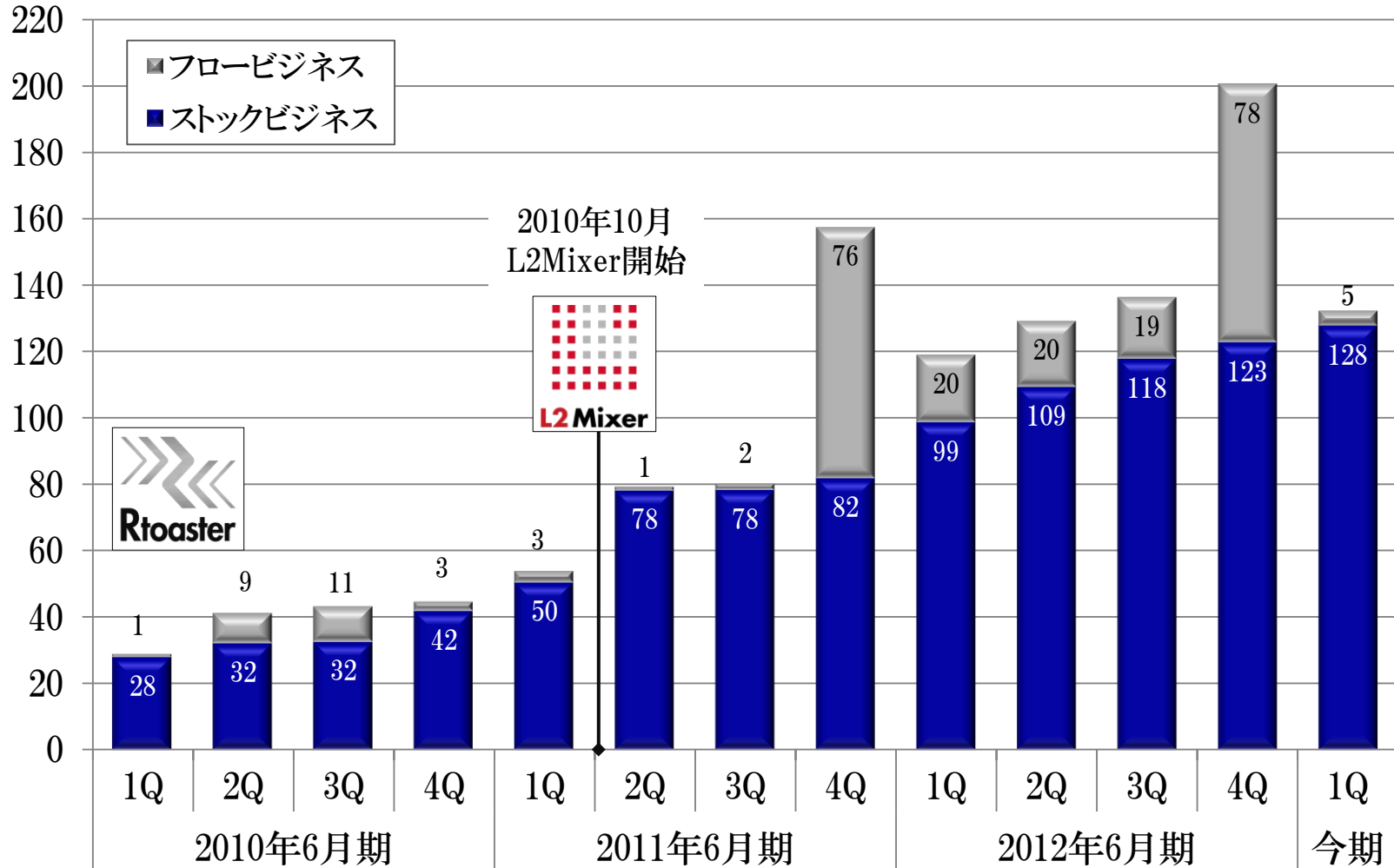


※2012年6月期4Qのストック売上の平均顧客単価の値について、売上種別を精緻に組み直した結果、1.55百万円→1.48百万円と修正しております。

# ASP事業 売上構造

安定収益源であるストックビジネスが堅調に増加しました。

(単位:百万円)



※2012年6月期4Qのストック売上の値について、売上種別を精緻に組み直した結果、129百万円→123百万円と修正しております。



# 子会社の設立について

データ分析業務の集中化・効率化の推進による、当社が提供するあらゆるサービスの品質向上と、グループ全体のさらなる収益基盤の強化を目的としたオペレーションセンター機能を担う子会社を設立しました。

商 号 : 株式会社ブレインパッドビジネスオペレーションズ  
設 立 : 2012年9月13日

これに伴い、本四半期より連結決算を開始致します。  
また、子会社設立に伴う通期業績への影響はございません。

# Appendix

- P/Lの概要
- B/Sの概要
- セグメント別 利益について
- セグメント別 平均単価・顧客数推移
- 取引社数の推移

# 第10期1Q P/Lの概要

(単位:百万円)

	(A) 前事業年度 2012年6月期 第一四半期 累計期間	(B) 当事業年度 2013年6月期 第一四半期 連結累計期間	(C) 増減額 (B-A)	増減率 (C/A)	増減理由
売上高	380	420	40	10.5%	「アナリティクス事業」は前年同期を下回ったが、「ソリューション事業」のライセンス・システム構築案件、「ASP関連事業」のRtoasterとL2Mixerにより堅調に伸ばすことができた
売上原価	214	223	9	4.2%	社員の増加による人件費の増加
売上総利益	166	196	31	18.6%	-
販売費及び一般管理費	124	176	53	42.6%	社員の増加による人件費の増加、及び広告宣伝費やデューデリジェンス費用等の計上
営業利益	42	20	-22	-52.1%	-
経常利益	23	16	-6	-27.4%	-
税引前当期純利益	23	16	-6	-27.4%	-
当期純利益	12	9	-4	-29.1%	-

当社は、第10期1Q決算より連結財務諸表を作成しております。連結グループ化にともなう登記の連結業績に与える影響は軽微であるため、前事業年度の連結前単体の業績との増減分析をおこなっております。

# 第10期1Q 資産の部

(単位:百万円)

	(A) 前事業年度末	(B) 当第一四半期 連結会計期間 末	(C) 増減額 (B-A)	増減率(C/A)	増減理由
資産の部					
流動資産					
現金及び預金	527	554	28	5.3%	6月の売上に係る売掛金が回収された
受取手形	28	22	-6	-19.9%	受取手形での債権回収が少なかった
売掛金	376	248	-128	-34.1%	前期6月単月の売上が多かった
その他	84	72	-12	-13.9%	
流動資産合計	1,015	897	-118	-11.6%	
固定資産					
有形固定資産	74	75	1	1.7%	
無形固定資産	204	214	9	4.5%	
投資その他の資産	39	56	17	44.4%	-
固定資産合計	317	344	28	8.7%	
資産合計	1,332	1,241	-90	-6.8%	

当社は、第10期1Q決算より連結財務諸表を作成しております。連結グループ化にともなう登記の連結業績に与える影響は軽微であるため、前事業年度の連結前単体の業績との増減分析をおこなっております。

# 第10期1Q 負債資本の部

(単位:百万円)

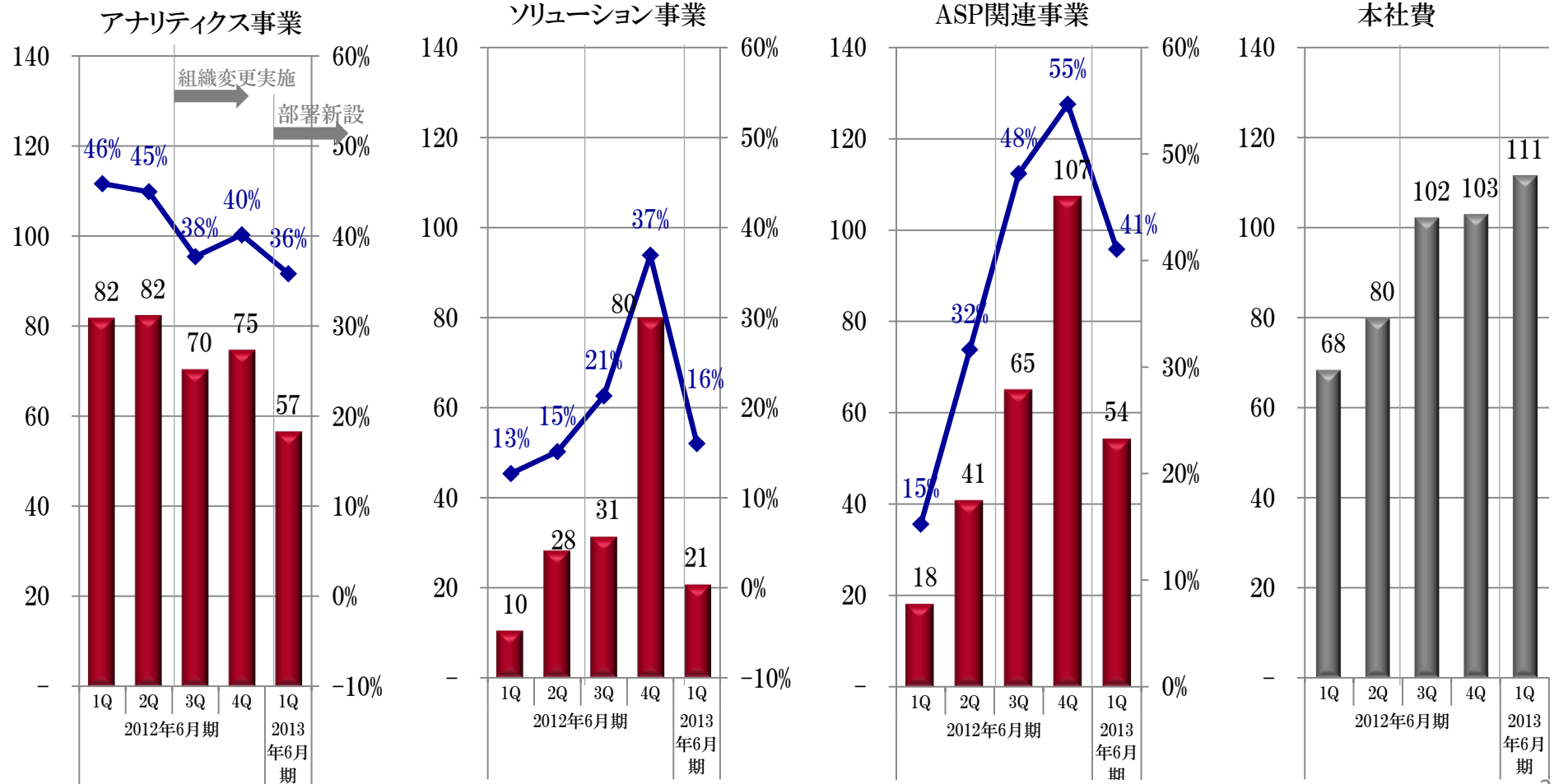
	(A) 前事業年度末	(B) 当第一四半期 連結会計期間 末	(C) 増減額 (B-A)	増減率 (C/A)	増減理由
負債の部					
流動負債					
買掛金	27	23	-4	-13.2%	業務委託費用の減少
短期借入金	0	0	0	-	
未払金	12	19	6	49.0%	中途採用費用や広告宣伝費用の計上
未払法人税等	104	1	-102	-98.7%	9期の法人税の納付
前受収益	40	45	5	11.9%	年間保守料等の前受の増加
その他	140	137	-3	-2.3%	
流動負債合計	323	224	-99	-30.6%	
固定負債					
長期借入金	21	18	-2	-12.0%	返済による減少
その他	5	5	0	0.2%	-
固定負債合計	26	23	-2	-9.6%	
負債合計	349	248	-101	-29.0%	
純資産の部					
株主資本					
資本金	326	327	1	0.2%	-
資本剰余金	303	303	1	0.2%	-
利益剰余金	353	362	9	2.4%	当期純利益の計上によるもの
株主資本合計	982	992	10	1.0%	-
少数株主持分	-	2	2	-	子会社の少数株主持分
純資産合計	982	993	11	1.1%	
負債純資産合計	1,332	1,241	-90	-6.8%	

当社は、第10期1Q決算より連結財務諸表を作成しております。連結グループ化にともなう登記の連結業績に与える影響は軽微であるため、前事業年度の連結前単体の業績との増減分析をおこなっております。

# (参考)セグメント利益の推移について

前期3Qの全社の組織変更および今期1Qの各セグメントでの企画系部署新設(による人件費増)の結果、利益率が変化し過去の単純比較が困難なため、参考情報とさせていただきます。

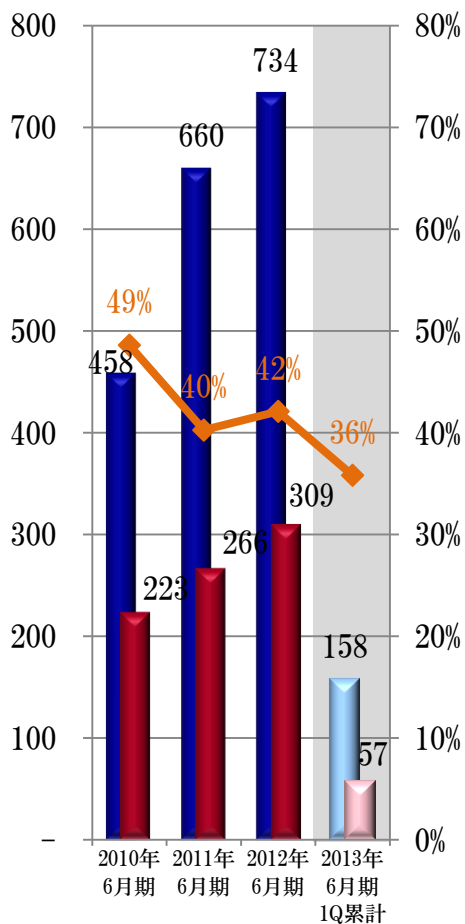
(左軸/四半期セグメント利益 単位:百万円、右軸/セグメント利益率)



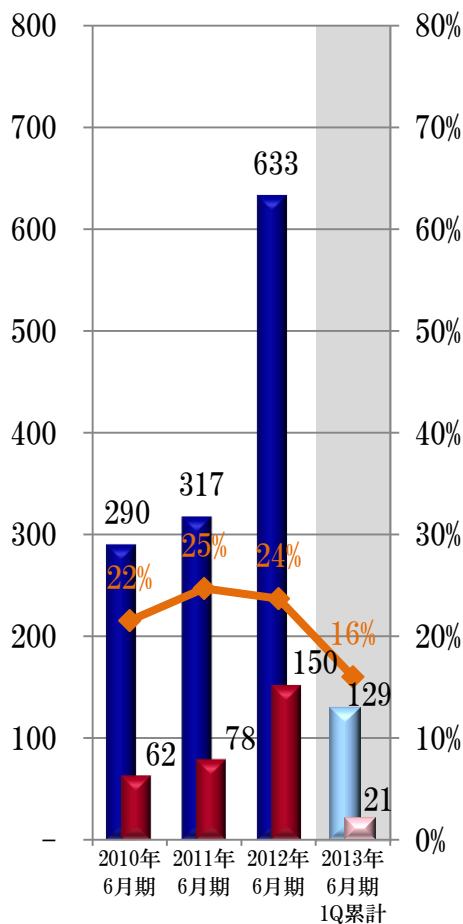
# (参考)セグメント別の売上高と利益

(左軸/金額 単位:百万円、右軸/セグメント利益率)

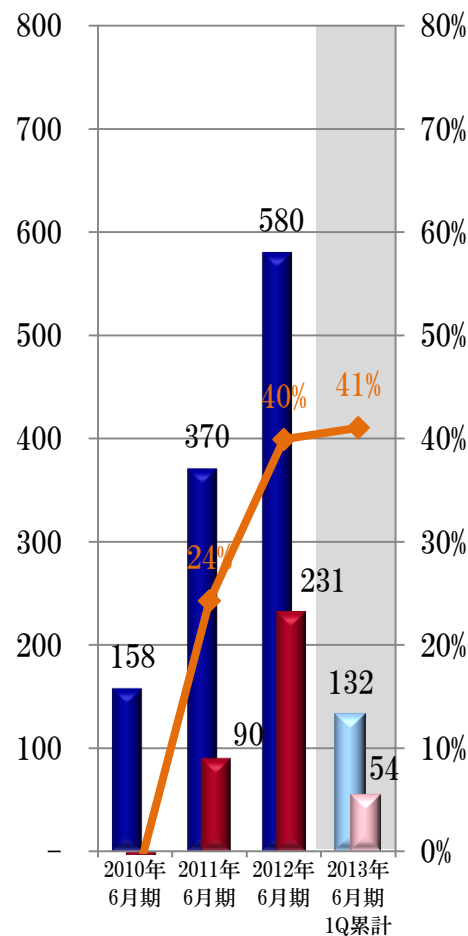
## アナリティクス事業



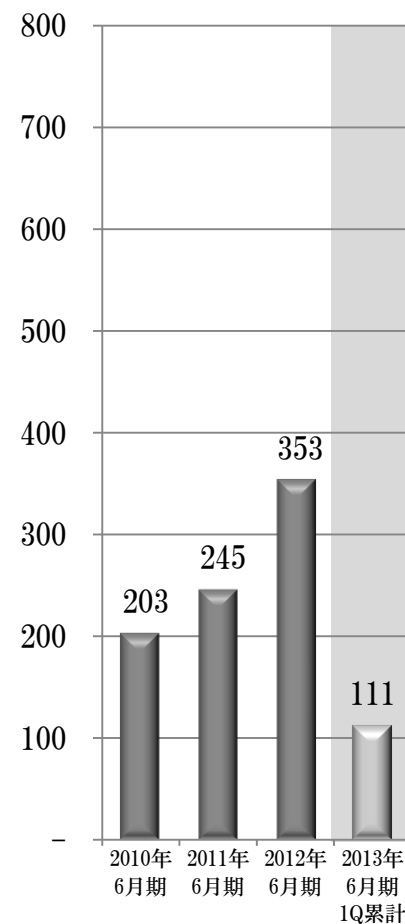
## ソリューション事業



## ASP関連事業



## 本社費

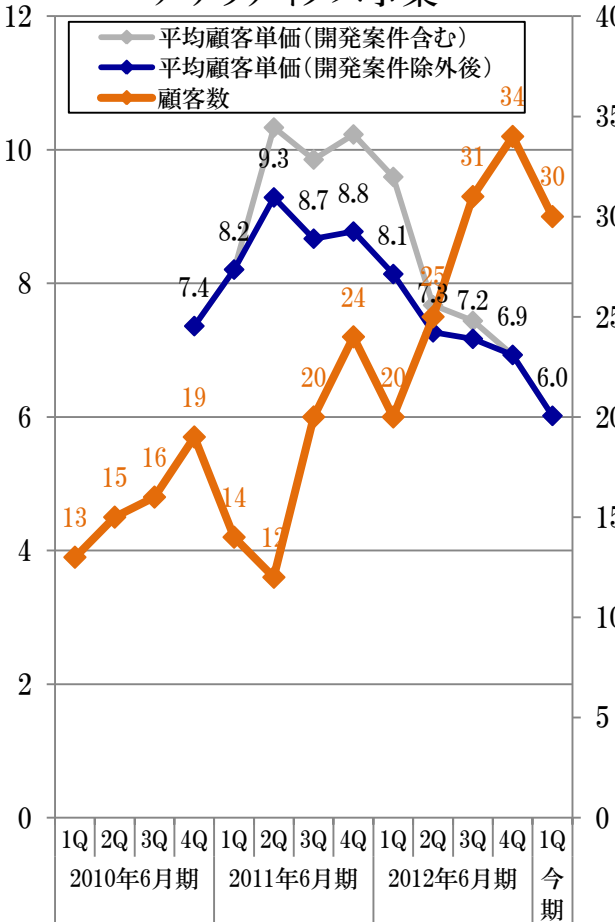


※2013年6月期は、第1四半期末時点の累計実績です。

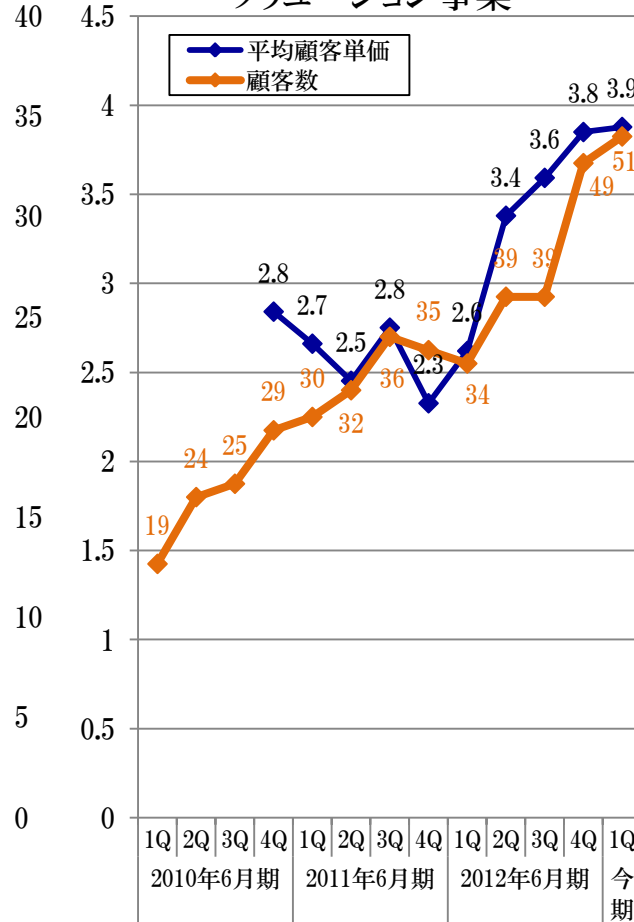
# (参考)セグメント別 平均単価・顧客数推移 (4四半期移動平均)

(左軸/平均顧客単価(4四半期移動平均) 単位:百万円 、 右軸(顧客数) 単位:社)

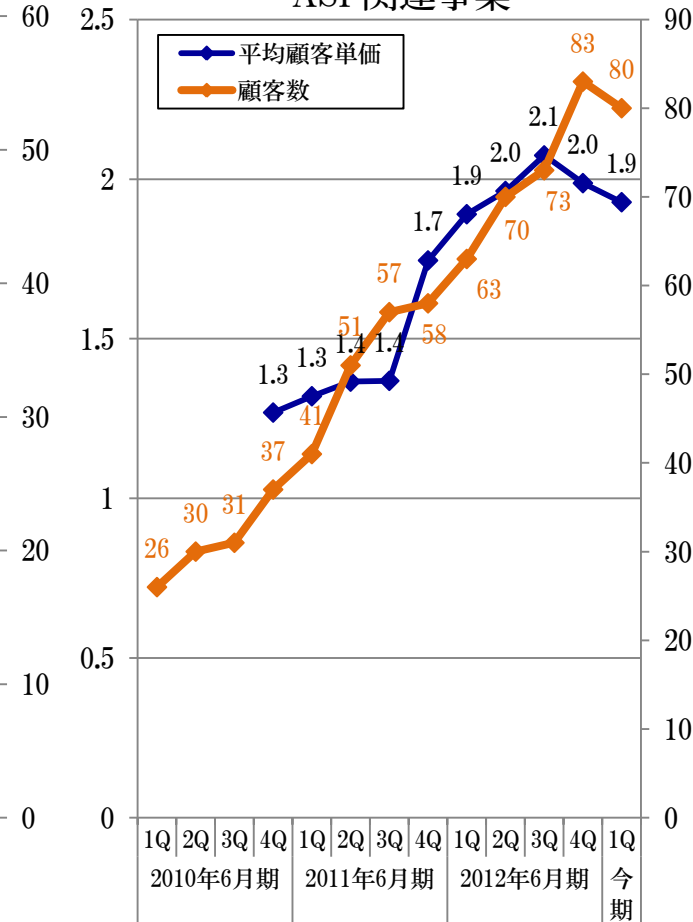
## アナリティクス事業



## ソリューション事業

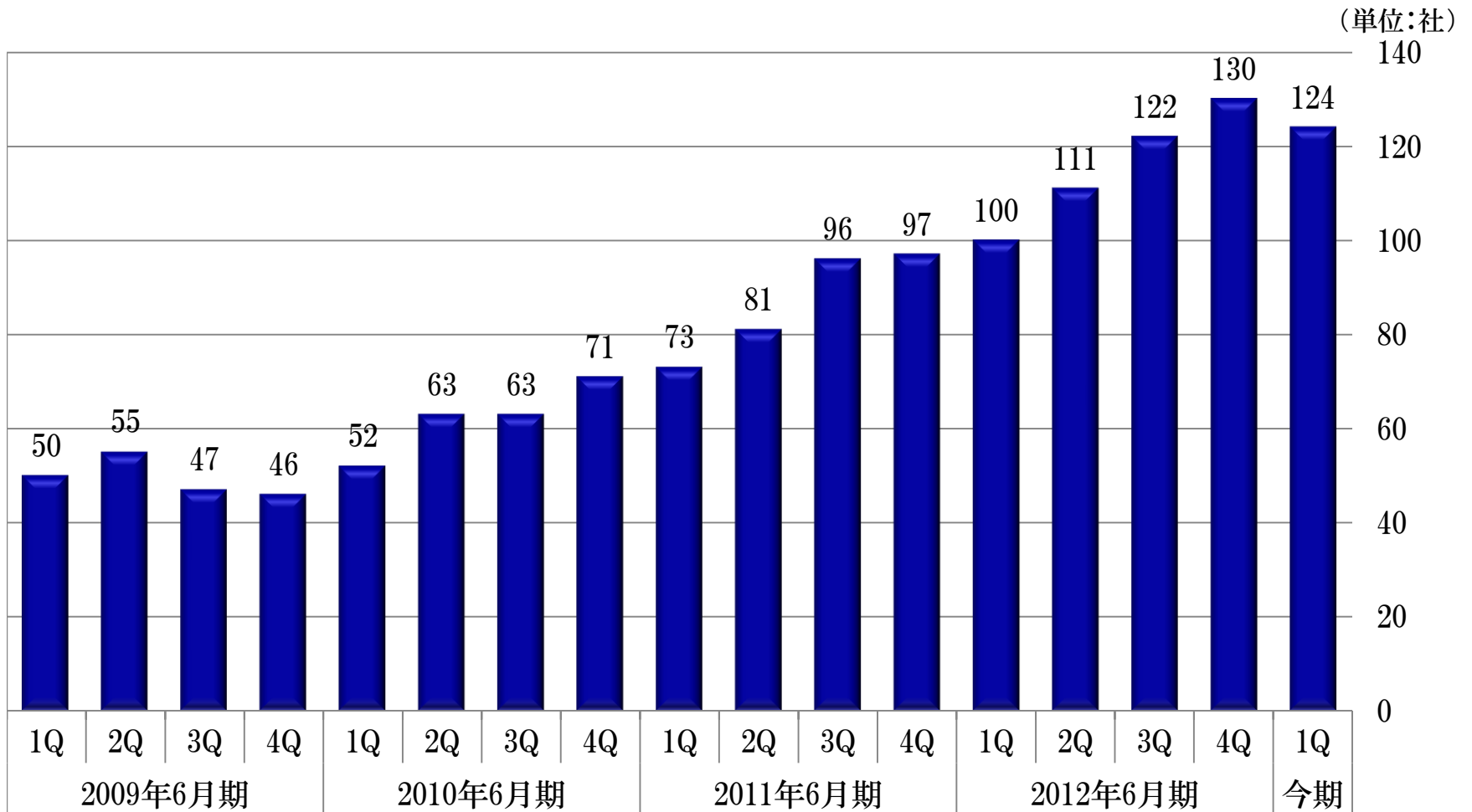


## ASP関連事業





# (参考)取引社数の推移





# Big data, Big innovation

次のイノベーションは、ビッグデータから

本資料に記載されている戦略や計画、見通しなどは、過去の事実を除いて予測であり、現時点において入手可能な情報に依拠し判断された一定の前提条件に基づいております。したがって、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これら見通しとは乖離する場合があることをご承知おきください。またグラフ内の数値は端数処理により総和が短信等で開示している合計額と一致しない場合があります。なお、2011年6月期 2Q以前の数値は未監査でありますため、当該期の数値は参考資料となります。

本資料における情報は、本資料が作成された時点のものであります。将来発生する事象などにより内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。また、本資料に記載された会社名・商品名・ロゴは、それぞれ各社の商標または登録商標です。